

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野および株式会社アソビズムと県立長野図書館との三者による連携に関する覚書

信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野(以下「甲」という。))と株式会社アソビズム(以下「乙」という。))と県立長野図書館(以下「丙」という。))は、平成 25 年 1 月 26 日に締結した「信州大学と長野県教育委員会との連携に関する協定書」(以下、連携協定書という。))に基づき、長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整えるための共通プラットフォームをつくるべく、相互に連携及び協力する事項に関し、次のとおり覚書を締結する。

(連携協力事項)

第1 甲、乙ならびに丙は、次に掲げる事項について連携し、協力するものとする。

- 一 「信州・学び創造ラボ」の運営及び活用方策についてのアドバイス
- 二 全県的なメーカーズスペース(ファブラボ等のものづくり拠点)の運営者によるコンソーシアム(連携共同体)の設立に向けた研究
- 三 メーカーズスペースの機器操作やものづくりレベルの段階化と、機器を操作できるようになるためのプログラム開発及びモデル化
- 四 その他甲、乙及び丙が協議して定める事項

(連絡協議会)

第2 連携協力事項の円滑な実施を図るため連絡協議会を設置し、その事務局を甲及び乙及び丙の企画協力課に置く。

(有効期間)

第3 この覚書の有効期間は、覚書締結日より一年間とする。ただし、甲及び乙及び丙は、その連携協力内容の評価を行い、三者の合意により更新することができる。

(細目)

第4 この覚書に定める事項について疑義が生じた場合は、甲乙丙が協議して定める。

上記覚書の締結を証するため、本覚書を3通作成し、甲乙丙それぞれが署名捺印の上、各自その1通を保有するものとする。

平成31年4月27日

(甲) 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター長

村松浩幸

(乙) 株式会社アソビズム代表取締役

大手智之

(丙) 県立長野図書館長

平賀研也